

BOOK TRAIN

ブックトレイン

千代田区立図書館
千代田区読書振興センター
学校支援 発行
2018. 12
中学生版

中学生の皆さんにおすすめの本を紹介します。



のマークは気軽に読める本、



のマークは読みごたえのある本です。



『ぼくたち負け組クラブ』

アンドリュー・クレメンツ／著 田中 奈津子／訳 講談社



自分を見失うほど「本の森に迷いこめ！」

「本の虫」アレックは、^{しか}叱られずに好きなだけ本が読める場所を学校に作ろうと思いついた。それは、名付けて「負け組クラブ」。静かに読むため二人と二人だけのクラブにしたかったのに、なぜか仲間が増えていく…。本を読むことが楽しいと素直に感じさせてくれる。そして、話に出てくる本のリストを見つけたら、それも続けて読みたくなること^ま間違いなし!!



『アリになった数学者』

森田 真生／文 脇阪 克二／絵 福音館書店



どこにもない。だけど、みんなが知っている。

ある日、人間の数学者だったぼくは、アリになってしまった。ぼくの愛する数学は、アリの世界ではどんなふうなのだろうかを考えていたせいだ。ぼくはアリの数学を知りたくて、働きアリに話しかけるがまるで通じない。そんなとき、彼女が^{てつがく}現れて…。哲学書のようにあり、ファンタジーのようでもある「数」をめぐる物語の絵本。



『シルクロードのあかい空』

イザベル・シムレール／文・絵 石津 ちひろ／訳 岩波書店



東洋と西洋をむすぶ、^{いにしえ}古の交易路を旅して描いた赤の世界

チョウ専門の^{こんちゅう}昆虫学者が、シルクロードを西へ西へと旅をする。絹の糸のような線で、旅の中で出会った壮大な風景と、その土地の生き物や人びとの暮らしを交互に描いた絵本。生き物や暮らしを描いたページはまるで博物館^{すかん}を見ているようで、興味をひきつけられる箇所^{かしょ}がきっと見つかるはず。あこがれの「チョウの王女さま」が眠る町、カシュガルを目指す道中^{あつこう}を圧倒的な画力^{えが}で描き上げる。





『お伽草紙』



太宰 治／作 スズキ コージ／絵 未知谷

ムカシ ムカシノオ話ヨ

文豪・太宰治にかかると、浦島太郎は風流人を気取る若旦那となり、「カチカチ山」の兎は、なんと16歳の美少女に！「瘤取り」「浦島さん」「カチカチ山」「舌切雀」。よく知られた日本の昔話4編をモチーフにして、昔話の登場人物を個性豊かに描いた、「絵本の物語とまったく別個の新しい物語」。太宰のユニークな語り口が魅力だ。



『アンデルセンのおはなし』



ハンス・クリスチャン・アンデルセン／著 エドワード・アーディゾーニ／選・絵 江國 香織／訳 のら書店

心配性で風変わりな天才、アンデルセンが紡ぐ繊細で美しい物語

デンマークを代表する作家、アンデルセンは生涯に150以上の童話を残した。彼を敬愛する画家エドワード・アーディゾーニが作品を選び、書き下ろした挿絵は美しく豊かで、アンデルセンの物語の一部といえよう。翻訳者は江國香織。「はだかの王様」は「皇帝の新しい服」と訳されるなど、同じ物語も翻訳の違いで印象が異なることをぜひ体験してほしい。



『オリエント急行の殺人』



アガサ・クリスティー／著 山本 やよい／訳 早川書房

あなたはこの結末を許せますか？

ヨーロッパを走りぬける豪華寝台列車オリエント急行。冬の日にしては珍しく、一等客車は満席だった。偶然乗車していた私立探偵ポアロは、ある男に警備の依頼を持ちかけられる。その夜、大雪で停止した列車の中、殺人事件が起こった。大胆不敵なトリックと意外な結末が話題を呼んだ、ミステリの女王といわれるアガサ・クリスティーの代表作。



『ドリーム・プロジェクト Dream project』



濱野 京子／著 PHP 研究所

中学生が、クラウドファンディングで古民家再生！

中学2年生の拓真は、祖父と同居することになった。ところがある日、祖父が突然失踪してしまう。祖父はかつて住んでいた古家に戻ろうとしていたのだ。祖父の思いを知った拓真だが、中学生の自分に何ができるのか悩んでいた。そんな時、友人がウェブ上で支援者を募る「クラウドファンディング」を提案してきて…。実際のクラウドファンディング取材した著者による一冊。

